

日本経済は、失われた10年と呼ばれたトンネルをようやく抜け出ようとしています。しかしながら、足元には2007年問題や少子高齢化、環境問題など様々な課題が存在し、永続する成長を遂げるためには、これらの課題を克服しこれまでの延長線上にはない変革を遂げて行かなければならないと思います。

本シンポジウムでは、プロジェクトマネジメントが新たな成長力創造の礎となるため、以下の内容をテーマとしたプログラムを企画しています。



1. 明日を創るプロジェクトマネジメント

日本がこれからも成長を続けるためには、我が国が誇る“ものづくり”の強みを、“仕組み”を加えることによって、世界に通用する強みとして確固としたものにしなければなりません。その仕組みとしてのプログラム&プロジェクトマネジメントがどう貢献し得るかを俯瞰するために、今回新たに「日本の明日を創るPM」トラックを設け“世界に貢献する明日の日本”に向けた提言を行います。

2. 進化するプロジェクトマネジメント

伝統的なプロジェクトマネジメントから、大規模化・複雑化するプロジェクトをマネージするプログラムマネジメント、そしてプロジェクト型組織の運営を目指したエンタープライズプロジェクトマネジメントと言うように、プロジェクトマネジメント手法も年々進化を遂げています。実務に

活かせる最新プロジェクトマネジメント手法や実践でのポイント等について実例を交えてお届けします。

3. PM水平線の伸張

縦軸としての業界別切り口、横軸としての人材育成、プログラム&プロジェクトマネジメント、グローバル等の視点。そして理論と実際の両輪。当シンポジウムならではの多面的なアプローチにより、新たな何かを必ず得ていただけます。

4. 参加型シンポジウム

CFP（公募講演）、それと自らも頭と手を動かしてみるワークショップ。能動的に関われる参加型シンポジウムであることも特徴の1つです。

- CPU
- PDU
- 知識ポイント
- PM教育受講証明

PMシンポジウム2006は、各種ポイントの認定対象となります

CPU

発給ポイントは以下の通りです。（1時間当たり2ポイントが基本となります）

- ◆1日目（全時間出席の場合）：10.5ポイント
- ◆2日目（半日講座）：5ポイント
- ◆2日目（1日講座）：11ポイント

ご注意

CPUポイントは自己申告制で、証明書は発行しません。

PDU

ENAAはPMI®認定教育プロバイダー（REP）であり、本大会は、メイン・シンポジウム並びに2日目のセミナー共にPMP®向けのPDU発給対象となっております。発給ポイントは以下の通りです。

- ◆1日目：7PDU
- ◆2日目（半日講座）：3PDU
- ◆2日目（1日講座）：6PDU

ご注意

PDU申請は必ず一括で行ってください（初日・2日目を分割するとエラーになります）。また、PMP®資格認定試験受験用受講証明書も発給致します。

知識ポイント（ITコーディネータ）

ITコーディネータ資格者には、協賛（後援）により4時間当り1ポイント相当（上限なし）の「知識ポイント」が付与されます。

各種
ポイントの
認定対象と
なります